

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	和泉市立病院	階数	地上8F
建設地	和泉市寺門町69番3の一部~69番4	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、第1種	平均居住人員	833 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2016年6月23日
敷地面積	21,154 m ²	作成者	清水建設 林孝司
建築面積	5,643 m ²	確認日	
延床面積	31,815 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.6 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	77%
③上記+②以外の	77%
④上記+	77%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

音環境	2.5
温熱環境	3.2
光・視環境	3.2
空気質環境	4.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.0

機能性	4.3
耐用性	4.3
対応性	3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.1

生物環境	3.0
まちなみ	5.0
地域性	4.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

建物外皮の	4.5
自然エネ	3.0
設備システ	4.7
効率的	4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

水資源	3.4
非再生材料の	3.8
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

地球温暖化	3.9
地域環境	3.7
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 ・隣接する横尾川公園との一体整備事業であるため、連続性を意識した建物配置・緑化計画とすることにより街並みへの景観形成を行った。	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・化学汚染物質が発生しないように内装材にF☆☆☆☆等級の建材を採用している。	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・病室の面積は1床あたり8㎡以上、天井高を2.5m確保している。
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・省エネルギーに配慮した建物形状(東西に長い建物)としている。 ・南北面を主採光面とし、熱負荷の大きい東西面の窓面	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・節水器具の採用等、資源の省消費に配慮した。 ・井水を利用し、上水の使用量を抑制する。
	Q3 室外環境(敷地内) 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・高層階をセットバックすることで近隣への圧迫感を軽減し、建物の周囲には公園と連続する緑地を計画すること
	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・敷地内に適切な駐車スペースを確保し、十分な車寄せスペース、引込車路長さを計画することで、ピーク時でも周辺道路に渋滞が発生しないように配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0054

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	和泉市立病院					
		建設地	和泉市寺門町66番3の一部～66番6、69番8の一部、70番1、79番1の一部、79番8の一部、82番、泉原町202番1、備前寺町670番1の一部、和泉町四丁目104番182の一部					
		用途/区分	病院					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					4		
	みどり・ヒート アイランド対策					3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.9	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	4.0	4		
				住戸・宿泊	4.0			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					4.5	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					4.7	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価					4.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価					3.4	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								